

SHORTSHORTS

ココロ動く、未来へ。
スカパー!2012年11月26日
株式会社パシフィックボイス
スカパーJSAT株式会社

でんでん、大東駿介が熱演 依頼人の記憶を消す二人のエージェントの物語

スカパー！初オリジナルショートフィルム「消しゴム屋 3D」

12/29(土) 後3:00～後3:20 スカチャン3D(スカパー！プレミアムサービス ch.596)で放送！

米国アカデミー賞公認、アジア最大級の国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア(SSFF & ASIA)」を企画運営する株式会社パシフィックボイス(本社:東京都渋谷区、代表 別所哲也)と、日本最大級の3D専門チャンネルを展開するスカパーJSAT株式会社(本社:東京都港区、代表取締役 執行役員社長 高田真治)は、でんでん、大東駿介ら出演による、スカパー！初となるオリジナルショートフィルム「消しゴム屋 3D」を製作、スカチャン3D(スカパー！プレミアムサービスの3D専門チャンネル)にて、12月29日(土)後3:00～後3:20に放送します。監督は、SSFF & ASIA 2009でジャパン部門の優秀賞を受賞し、実写版映画『タイガーマスク』(主演:ウエンツ瑛士)の公開を控える落合賢監督です。

タイアップ楽曲には、多角的な音楽表現でカンヌ国際広告祭(仏)、Webby Award(米)ほか国内外11のアワードを受賞するなど今シーンで急成長を遂げているバンドandrop の「Boohoo」(2ndフルアルバム『one and zero』より)を使用しています。

また、この作品は、世界各国の国際映画祭へSSFF & ASIAを通して出品される予定です。

スカパー！初のオリジナルショートフィルム「消しゴム屋 3D」を、是非、迫力の3D映像でお楽しみ下さい。



「消しゴム屋 3D」より (左:でんでん、右:大東駿介)

【キャストからのコメント】

「本当にこういう事があるんじゃないかな?と錯覚するくらい良い脚本だね。僕が演じたジンは、血が通ってるね、熱い血が通っているよ! 正義だね。でも、謎だらけだよ」

でんでん

「15分では収まりきらない世界観をあえてショートフィルムとして凝縮しているのはとても魅力的。計算しつくされた3Dの構図は日本映画の新しい一歩になるのでは?あと、現場の3Dモニターでは、でんでんさんの顔が普通より飛び出してました(笑)」

大東駿介

スカパー！初オリジナルショートフィルム「消しゴム屋 3D」(監督:落合賢)

12/29(土)後3:00～後3:20 スカチャン3D(スカパー！プレミアムサービス ch.596)

キャスト:でんでん、大東駿介、亀石征一郎、瀧内公美、香純恭

あらすじ:他人の記憶を消す仕事「消しゴム屋」を生業としているジンとテツは、ある日、著名な大富豪マサミチの妻レイから、マサミチが浮気をしている若い美女、エリカの記憶を消して欲しいという依頼を受けた。ジンとテツは、彼の脳内に潜入り、マサミチの脳内にあるエリカの記憶を次々と消していく。ところが、そこに待ち受けていた陰謀の影。記憶の世界と現実の世界で繰り広げられるバトルの中、果たしてジンとテツは現実の世界に生還出来るのか…?



ショートフィルムの醍醐味は、短い時間の映像造形物が観る人の記憶に変化を起こす大宇宙が存在すること。その記憶が「思い出」に純化するには、いらない記憶を消し去る装置や「消しゴム屋」が必要なのかもしれない。こんなことが出来たら、あつたら、という空想がショートフィルムになって、シネマチックな時間旅行に誘います。ビジュアルチャレンジャーであるスカパー！さんと、国境を越えて活躍するサムライ映像作家・落合賢が織りなす奇想天外なタイムリミット仕事人ムービーをご堪能ください。

別所哲也(SSFF & ASIA代表)

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社パシフィックボイス 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-12-8 SSUビル4F
担当:高橋、川村 TEL:03-5474-8201/FAX:03-5474-8202 e-mail: press@shortshorts.org

スカパーJSAT株式会社 プロモーション部 広告宣伝チーム

担当:長田 TEL:03-5571-7581/FAX:03-5571-1752 e-mail: sosada@sptvjsat.com



ジン役: でんでん

1950年生まれ、福岡県出身。81年「の、ようなもの」で映画デビュー。独特な存在感と味のある演技で、映画やTVドラマ、舞台、CM等数多くの作品に出演している。主な映画出演作に、「クライマーズ・ハイ」(08)、「母べえ」(08)、「悪人」(10)、「大鹿村騒動記」(11)、「ヒミズ」(11)、「ライク・サムワン・イン・ラブ」(12)、「希望の国」(12)、「黄金を抱いて翔べ」(12)等がある。冷徹な殺人鬼を演じた「冷たい熱帯魚」(11)では、第35回日本アカデミー賞最優秀助演男優賞をはじめ、数々の映画賞を総なめにした。



テツ役: 大東駿介

俳優として、2005年日本テレビ『野ブタ。をプロデュース』でデビュー。その後、ドラマ、映画、舞台、ミュージックビデオなど多方面で活躍中。現在、日本テレビ『心ゆさぶれ！先輩ROCK YOU』のレギュラーMCの他、2013年1月8日からは、NHKドラマ10『いつか陽のあたる場所で』が放送。1月17日からは主演舞台「スマートモテリーマン講座」が上演。2014年には、映画「ねこにみかん」の全国公開が控えている。



マサミチ役: 亀石征一郎

1938年11月30日生まれ 東映第6期ニューフェイスでデビュー。「あしたのジョー」力石徹役や「シルバー仮面」春日光一役など1960年代から70年代にかけて主演や準主演をこなし、1970年代半ば以降は「水戸黄門」「暴れん坊将軍」や「必殺シリーズ」など悪役として数々の時代劇に出演、なくてはならない存在となる。近年では、テレビドラマ「不毛地帯」や映画「セイジ一陸の魚一」など現代劇にも多数出演。また、2005年には小説「フライングタワー」にて作家デビューをし、「シャバを生き抜く悪行力」などを執筆。



エリカ役: 澩内公美

1989年生まれ、富山県出身。11年に舞台「女の平和」(俳優座劇場)に出演し女優デビュー。以降、ソナーポケット「月火水木金土日。～君に贈る歌～」のPV、短編映画「エクソシストを探せ」、TVドラマ「トッカン-特別国税徴収官」(NTV)、TV「総合診療医ドクターG」(NHK)、TV「超再現!ミステリー」(NTV)、舞台「青葉大学新聞部物語」(千本桜ホール)、舞台「阿呆の鼻毛で蜻蛉をつなぐ」(本多劇場)、P&G「ハーバルエッセンス」なりきりハッピーモード(WEB)などがある。



レイ役: 香純 恭 (かすみ・きょう)

1972年東京都出身。東京女子体育大学卒業後、第2回モーターボート・クィーンコンテスト(全国モーターボート連盟 主催)にて準グランプリ受賞。その後、ドラマ、CM等でタレントとして活躍後、女優に転進。明るいキャラクターと確かな演技力で様々な作品に出演。近年は、舞台で新撰組、沖田総司が当たり役。



監督: 落合賢

1983年5月31日生まれ。東京都出身。12歳の頃から映画を撮り始め、高校を卒業後、映画監督になるという夢を追いかけて渡米。ジョージ・ルーカスらを輩出した南カリフォルニア大学(USC)で学士号を取得後、2008年にアメリカ映画協会付属大学院(AFI)映画監督科で修士号を取得。学生時代から作品が国内外で高い評価を得、日本人初の快挙となる全米映画監督協会審査員特別賞を含む数々の賞を受賞している。卒業後はロサンゼルスに映画製作会社、フォトシンスエンターテイメントを設立。アメリカと日本を中心に、映画やCM、ミュージックビデオ、ウェブコンテンツなど幅広いジャンルの映像を制作している。映画『タイガーマスク』(主演: ウエンツ瑛士)で長編デビュー。

■タイアップ楽曲について



アーティスト: androp

使用楽曲「Boohoo」2ndフルアルバム『one and zero』より

【プロフィール】

2009年12月に1st album『anew』でデビュー。4人編成のロックバンド。緻密なサウンドアプローチと、多角的な音楽表現でカンヌ国際広告祭(仏)、Webby Award(米)ほか国内外11のアワードを受賞するなど、今シーンで急成長を遂げているバンド、androp。12/5には、2ndフルアルバム『one and zero』をリリース。来年3月には東名阪ホールツアーも決定している。
<http://www.androp.jp>

■撮影中の模様



3D用のメガネをかけモニターチェックする落合賢監督



小道具のヘルメット。劇中で消しゴム屋が記憶の中に侵入する際にはこれを着用する。

■ショートショート フィルムフェスティバル & アジア(SSFF & ASIA)について

米国アカデミー賞公認、日本発・アジア最大級の国際短編映画祭。新しい映像ジャンルとして「ショートフィルム」を日本に紹介するため、米国俳優協会(SAG)の会員でもある俳優の別所哲也が、創設者として1999年に東京・原宿で誕生。開催第1回目からジョージ・ルーカス監督の支援を受け、またマーティン・スコセッシ監督など世界的に活躍する有名監督から応援メッセージが届くなど、成長を遂げ、これまでに約25万人を動員するイベントへと成長しました。また、ロサンゼルス、シンガポール、ミャンマー、メキシコ、マレーシアと海外に展開も重ねるほか、海外映画祭との幅広いネットワークをいかし、日本作品を海外へ向けて発信する活動も積極的に行ってています。ショートフィルムの魅力は、短いもので1分、長いものでも25分(SSFF & ASIA規定による)という短時間のなかにメッセージが凝縮されており、若きクリエイターの登竜門でもあることから世界的に活躍する監督たちからも推奨されています。

■株式会社パシフィックボイス

「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア」の企画・運営を行う株式会社パシフィックボイスは、太平洋を越えて映像文化の交流がより盛んになることを応援する事業としてスタートしました。アジアの情報基地Tokyoと、映像産業の中心地Los Angelesに拠点をおき、ビジュアルコンテンツの未来の担い手として、世界をつなぐ事業を展開。また、俳優及びスポーツ選手・文化人を中心に、それぞれの個性を大切に育てるマネージメントを提供しています。

■スカパーJSATについて

スカパーJSATは、日本で唯一、アジア最大の有料多チャンネル放送・衛星通信事業者です。

スカパーJSATでは、380万を超える人々が視聴する日本最大の有料多チャンネル事業と、世界第5位の売上高を誇るアジア最大の衛星事業を両輪とするハイブリッドな強みを最大限に発揮しながら、有料多チャンネル事業においては、業界に先駆けてハイビジョン化の推進や3D放送・新BS放送など多チャンネル放送の魅力と楽しさを広げています。宇宙・衛星事業では、社会の安心・安全を支える役割を果たすと共にグローバルビジネスや新規事業領域の拡大に取り組んでいます。